

みんなの ひろば

全日本パークゴルフ選手権大会 双子の兄弟で
同時出場決定
福田 剛史・泰弘さん
たけし やすひろ



クローズ
アップ
まちなひと

9月10日から2日間の日程で開催される第17回全日本パークゴルフ選手権大会（雨竜町・北竜町開催）に同時初出場を決めた福田剛史さんと泰弘さん（38歳）。

7月3日（日）に網走市で開催されたオホーツク地区連合会大会において、男子150人中、兄の剛史さんが首位と1打差の4位、弟の泰弘さんも9位となり、見事全日本大会への切符を手にした。

「プレーが進むにつれ、自分の順位がだんだんと分かってきて、代表に選出された」と

きは正直涙が出るほどうれしかった」と剛史さん。泰弘さんも「スコアが100だったのでも、どうかなとは思いませんが、決まったときは本当にうれしかった」と話してくれました。

剛史さんがパークゴルフを始めたきっかけは両親の存在。父の勘一さんは多くの大会で優勝をおさめ、母の昌子さんも全日本の大会で8位になった実績を持つ。「4年前に行われた全日本大会に両親が出場したのがきっかけ。両親のプレーする姿を見て自分

もやってみようかと思った。初めてプレーしたときは一般のレベルよりも低いくらいだった」と振り返る。泰弘さんもパークゴルフを始めた兄の姿を見て挑戦を決意する。「両親に技術的なことよりもルールやマナーを一番先に叩き込まれ、雄武の協会の皆さんには技術的な指導をしていただきました」と思い返す。

競技としてのパークゴルフは、1ホールで4打叩かないことが求められ、最低でも3打、そしていかに2打で上がるホールを増やすかが上位進出のポイントとなる。全日本大会について「まずは楽しんでくる事。それが一番。それで成績が残れば。将来的な目標は全日本大会で優勝すること」と剛史さん。泰弘さんも「2日間で行われる全日本大会は、最終日にそれまでの成績順でプレーを開始するので、最終組を兄弟2人でプレーできた最高ですね」と話してくれました。

フレッシュトーク

マニュアルのない仕事だからこそ

おうむ農業協同組合営農部勤務 **本間 義啓さん**
ほんま よしひろ



昨年4月からおうむ農業協同組合に勤務する本間義啓さん（24歳）。出身は湧別町。札幌の大学を卒業後、農業協同組合職員を養成する専門の学校JACレッジに入学し、営農や金融など農協の仕事について学ぶ。「大学では商業系を専攻していましたが、こんな学校があるんだよと紹介されて農協の仕事に興味を持ちました。実習で雄武町に来て、酪農業を初めて経験しましたが、本当に大変な仕事だと感じました。」

現在は、営農部組合員相談課の一員として、組合員さんからの相談や青年部の事務局の仕事を担当。「組

合員さんから相談されたときに、わからないことばかりで逆に聞いてしまうことが多いです。自分で知識をつけたいと何にも仕事ができなないと痛感しています。マニュアルのない仕事だからこそ、毎日覚えることが新鮮でやりがいを感じています。もっと勉強して組合員さんから頼られる存在になりたいですね」と明るく話してくれました。

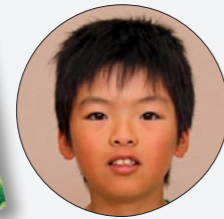
◆趣味 映画、音楽
◆性格 穏やか、天然と言われますがやるときはやる人
◆好きな女性のタイプ 一緒に居ても楽しめる人

小さな美術館

幌内小学校



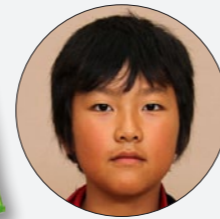
↑「夕方の中走る列車」



高野 飛陽くん（4年）



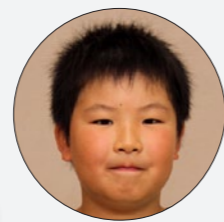
↑「みんなが見ている新幹線」



加藤 瑞葵くん（4年）



↑「昔の鉄道」



新山 絢介くん（4年）

わんぱくキッズ

おおきくなったら
～若草保育所～



ケキ屋さん

でぐち
はづきちゃん



保育所の先生

たきざわ
りょうたくん



レジ屋さん

かいまい
こはるちゃん